

インフォシス、欧州で最も環境に配慮したデータセンターとの協働で ダイムラー社の持続可能なモビリティへの移行を高速化

- Lefdal Mine Datacenter は欧州で最も環境に配慮したエコシステムを提供する、世界で最もエネルギー効率に優れたソリューション
- インフォシスは Infosys Cobalt で「サービスとしてのグリーン・データセンター」を提供、温室効果ガス排出実質ゼロへと向かうダイムラーの取り組みを促進
- このサービスは各産業で脱炭素化を加速する企業に対してブループリントを提供

シュツットガルト (ドイツ) - 2021 年 11 月 30 日: 次世代デジタル・サービスおよびコンサルティングの世界的リーダーである [インフォシス](#) (NSE、BSE、NYSE: INFY) は、本日、ダイムラーが車両設計および自動走行テクノロジーに使用する高性能コンピューティング(HPC) ワークロードを、欧州で最も環境に配慮したデータセンターであるノルウェーの Lefdal Mine データセンターに移管すると発表しました。今回のサービスとしてのグリーン・データセンター (Green Data Center-as-a-Service) へのシフトは、ダイムラーによる同社の持続可能性ミッション「Ambition 2039」および 2039 年までの CO2 ニュートラルの達成を支援する上で重要なマイルストーンです。

現在、データセンターは世界の総エネルギー使用の 1% を占めており、サービス需要は 2022 年までに 60% 増大すると予測されています。次世代テクノロジーの発展が続く中、センサーのシミュレーションや自動走行車両の運行に必要とされるような複雑なアルゴリズムを実行するエンジニアリングやその他の高性能ワークロードは、モビリティ産業で自動車メーカーが競争力を保持するための、いっそう重要な要素となります。しかしながら、こうしたワークロードは極めて大量のエネルギーを消費し、世界中の企業により排出されるカーボンフットプリントへの寄与度は高いのです。

ダイムラーとの戦略的パートナーシップに基づきハイブリッド・クラウドによるイノベーションと IT インフラストラクチャの変革を推進するため、インフォシスは同社の北欧地域のサービスであるデータセンター・アズ・ア・サービス (DCaaS) を利用

し、ダイムラーが保有する HPC のグリーン・インフラストラクチャへのシフトを容易にするソリューションを提供しました。この取り組みを通じて、インフォシスは IT インフラストラクチャ全体の管理を担い、また Lefdal Mine データセンターは、世界をリードする持続可能でエネルギー効率の高いデータセンター施設を提供します。

ノルウェーは発電の 100% を再生エネルギーで行い、また送電損失を最小限に抑えることから、グリーン・データセンターの「スーパーパワー」となりつつあります。Lefdal Mine データセンターは欧州で最も環境に配慮したデータソリューションを提供し、空冷式と水冷式の両方の容量を提供しています。

同データセンターは深く寒冷なフィヨルドに隣接する鉱山に位置しており、安定した低温環境下で効率的な冷却を実現しています。空冷式のデータセンターと比較して、Lefdal Mine データセンターは日中の気温上昇の影響を受けにくく、冷却用の蒸発システムを必要としないため、水資源の利用効率についても排出量ゼロと評価されます。このシステムにより、PUE は UPS 構成と容量の規模に応じて 1.10~1.15 の範囲となります。同データセンターは、HPC 環境向けに世界をリードするロケーションを提供しています。

グリーン・データセンターは [Infosys Cobalt](#) のハイブリッド・クラウド・ポートフォリオに新しく追加された、リージョナル・プライベート・データセンターの組み合わせによって構成されるブループリントです。世界中の主要な地域、エッジ・データセンター、ハイパースケーラーのすべてを網羅しています。インフォシスとのパートナーシップによりダイムラーが Lefdal Mine データセンターでのデータセンター運用を再考することは、同社の持続可能性目標の達成に重要な影響を及ぼし、また他の組織においても業界をリードするサービスからメリットを得られる大きな機会があることを実証するものです。

ダイムラーおよびメルセデス・ベンツの最高情報責任者 Jan Brecht 氏は次のように述べています。「当社の IT エネルギー消費の大部分は、コンピューティングと冷却に大量の電力を必要とするデータセンターに由来します。パートナーであるインフォシスの支援を得て当社のデータセンターを変革し、特に高性能コンピューティングを Lefdal Mine データセンターで単一のエネルギー効率化ソリューションにまとめようとしているのはそのためです。寒冷地の利点を活かした自然な冷却の恩恵を受けられることに加え、当社の運用もまた 100% 環境に配慮したエネルギーで行われます。この取り組みで、CO2 ニュートラル達成に向けた当社の道のりの重要なマイルストーンが新たに刻まれることとなります。」

インフォシスの最高経営責任 Saliil Parekh は次のように述べています。「インフォシスは、脱炭素化に取り組んでいる企業の戦略的パートナーとして、10年にわたる環境スチュワードシップの取り組みにより得られた専門知識を活用し、持続可能で環境に配慮した変革を実現できる体制を整えています。当社は世界に先駆けて、あらゆる業界のプロジェクトで気候変動アクションを促進し、低炭素への移行を実践する顧客向けのソリューションやサービスを開発しています。今回のダイムラーの変革を提供するために、グリーン・インフラストラクチャ・アズ・ア・サービスが組織の環境負荷を劇的に削減する手法と、高コンピューティング・エンタープライズ・ワークロードを実行している他の組織がこの業界最先端の持続可能性サービスによる恩恵を得られる可能性の大きさを示してきました。」

Lefdal Mine Datacenter AS の最高経営責任である Jørn Skaane 氏は次のように述べています。「当社は最新の持続可能でセキュアな、コスト効率の高いデータセンターを構築し運用しています。ノルウェーのソリューションです。近隣で産み出される自然エネルギーと隣接するフィヨルドの冷却効果を背景として、持続可能性は当社の使命と価値の中核を占めています。当社はテラーメイドで拡張性の高いデータセンター・ソリューションを提供する能力を備える、世界で最も環境に配慮したデータセンターを目指しています。ダイムラーの HPC ワークロードのホスティング事業者に選定されたことに刺激を受けています。ダイムラーの CO2 ニュートラル達成に貢献してまいります。」

ノルウェーの Jan Christian Vestre 貿易産業大臣は次のように述べています。「この重要なマイルストーンに到達した関係者の皆様にお祝いを申し上げます。Lefdal Mine データセンターは産業インフラストラクチャと現地で産出されたエネルギーの再利用を基礎とするノルウェーのデータセンターの優れた事例であり、工業的なノウハウによって未来の産業が脱炭素化の目標を達成する一助となりえます。」

インフォシスについて

インフォシスは次世代デジタル・サービスとコンサルティングのグローバル・リーダーとして、世界 50 개국でお客様のデジタル変革を実現しています。40 年以上にわたるグローバル企業のシステム・業務管理の実績に基づき、専門家としてお客様のデジタル・ジャーニーを推進します。変革の優先順位の判断において、当社では企業が AI を導入したコアを利用できるようにしています。また、ビジネスにアジャイル手法とデジタル化を大規模に導入することで、かつてない高いレベルのパフォーマンスと顧客満足度を提供いたします。当社の常に学ぶ姿勢は、デジタル・スキル、専門知識、および当社のイノベーション・エコシステムから創出されるアイデアの確立と移転を通じて、お客様の継続的改善を実現しています。

インフォシス (NYSE: INFY) が次のステージへと進む企業を支援する方法については、www.infosys.com をご覧ください。

セーフハーバー条項

本リリースに掲載されている報告書の一部は、1995 年私募証券訴訟改革法の「セーフハーバー」条項の適用を意図した当社の将来的な成長と今後の配当、財務的期待、当社の従業員、顧客およびステークホルダーへの COVID-19 の影響を管理するための計画を予測するものであり、そこには多くのリスクや不確定要素が介在しているため、実績と大きく異なる場合があります。このようなリスクおよび不確定要素としては、COVID-19 に関連するリスクと不安定要素、その拡散を抑制するための政府およびその他の対策の効果、インド、米国、世界のその他の国々の景気低迷や不況に関連するリスク、政治、ビジネスおよび経済環境の変化、収益や外国為替相場の変動、当社の成長管理能力、費用効率に影響する可能性のある IT サービス分野における競争の激化、インドにおける人件費の高騰、高い技能をもつ専門的な人材を確保する当社の能力、固定価格・固定時間による契約における時間や経費の超過、顧客の集中化、出入国制限、業界セグメントの集中化、国際業務を管理する当社の能力、当社の主力分野であるテクノロジーの需要低下、通信ネットワークの崩壊あるいはシステムの故障、企業買収を成功させる当社の能力、当社サービス契約に対する損害賠償責任、戦略投資した企業の業績、政府援助の打ち切り、政治不安および地域紛争、インド国外での増資・企業買収に対する法的制限、当社知的所有権の不正使用、この業界に影響を与える経済情勢などが考えられます。将来の営業業績に影響すると考えられるその他リスクについては、2020 年会計年度年次報告書 (Form 20-F) を含め、米国証券取引委員会へ提出された当社報告書に詳細に記載されています。これらの報告書は、www.sec.gov でご覧いただけます。当社は、米国証券取引委員会および株主への報告書内の情報を含め、書面または口頭で将来の展望を随時発表する場合がありますが、法律により義務付けられている場合を除き、随時発表する将来の展望について更新する義務を負わないものとします。

ダイムラーについて

ダイムラー AG は世界中で最も成功している自動車会社に挙げられます。同グループは、メルセデス・ベンツの自動車と商用車、ダイムラーのトラックやバス、およびダイムラー・モビリティ事業を手がける、世界的な大手高級車サプライヤーであり、また世界最大級の商用車メーカーでもあります。ダイムラー・モビリティは、資金調達、リース、フリート管理、投資および保険仲介、並びに革新的なモビリティ・サービスを提供しています。創業者の Gottlieb Daimler 氏と Carl Benz 氏は 1886 年に自動車を発明し、歴史に名を刻みました。自動車エンジニアリングのパイオニアとして、ダイムラーは安全で持続可能な方法によってモビリティの未来を形作ることを、自らのモチベーションであり使命と捉え、革新的で環境に配慮したテクノロジーと、人々を魅了し刺激しつつも安全で優れた車両に焦点を合わせ続けています。ダイムラーは、ハイテクエンジンやハイブリッド自動車から、バッテリーや燃料電池を用いる完全電気パワートレインに至るまで、高効率パワートレインの開発に対し継続して体系的な投資を行い、長期的には近距離でゼロエミッションの走行を可能にすることを目標としています。車両のインテリジェント・コネクティビティ、自動走行、および新しいモビリティのコンセプトを、社会と環境に対する自らの責任を果たしたいという願望と義務として捉え、これらにも尽力しています。ダイムラーは、世界中のほぼすべての国で車両やサービスを販売しており、生産設備は欧州、南北アメリカ、アジア、アフリカに設置されています。世界の最も価値ある高級車ブランドであるメルセデス・ベンツ (出典: Interbrand 社調査、2021 年 10 月 20 日) およびメルセデス AMG、メルセデス・マイバッハ、メルセデス EQ、メルセデスミーに加え、同社のブランド・ポートフォリオには、商用車ブランドのメルセデス・ベンツ・トラックス、フレイトライナー、ウェスタン・スター、パーラト・ベンツ、ふそう、ゼトラ、トーマス・ビルト・バス、並びにダイムラー・モビリティのブランドであるメルセデス・ベンツ銀行、Mercedes-Benz Financial Services、ダイムラー・トラック・ファイナンシャル、アスロンなどが含まれます。同社はフランクフルト証券取引所およびシュトゥットガルト証券取引所に上場しています (ティッカーシンボル:

DAI)。2020年の同グループの従業員数は約28万8500名、販売車両は280万台にのぼりました。グループ売上高は1543億ユーロ、グループEBITは66億ユーロとなりました。

Lefdal Mine データセンターについて

Lefdal Mine データセンター (LMD) は、欧州で最も持続可能とされるデータセンターです。施設はノルウェーに設置され、ミッドマーケット・インフラストラクチャ・ファンドであるコロンビア・スレドニードル欧州持続可能インフラストラクチャ・ファンド (ESIF) と、ドイツの工業コングロメリットであるフリードヘルム・ロー・グループ傘下の German Edge Cloud GmbH & CO KG が保有しています。同データセンターは正味12万平方メートルのホワイトスペースと、200メガワットを上回るデータセンター容量を備えています。10 MW の容量はすでに設置済みであり、LMD は北欧諸国をリードするデータセンターとなっています。山間部への施設の配置は、データセンター業界の新しい標準となっています。LMD はかつてないコスト効率、セキュリティ、柔軟性を達成しています。膨大なスペースをモジュール化された設計と組み合わせることで、他に類を見ない市場化までの時間短縮を実現し、安価なエネルギーと再生可能エネルギーの組み合わせを予測可能な低コスト化につなげ、顧客に提供しています。

www.lefdalmine.com と <https://lefdal.netlify.app> (360度ツアー) をご覧いただけます。

お問い合わせ先:

マーケティング本部 安藤

Mail: mktg_jp@infosys.com